平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場会社名　(株)東京放送ホールディングス　上場取引所　東
コード番号　9401　URL　http://www.tbsholdings.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 石原　俊爾
問合せ先責任者　(役職名) 経理局経理部長　(氏名) 伊藤　博信　TEL 03-3746-1111
四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日　配当支払開始予定日　平成24年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	172,410	4.0	4,897	105.7	5,850	58.6	△5,947	―
24年3月期第2四半期	165,759	△0.6	2,380	26.1	3,688	35.5	472	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△10,844百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△1,569百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△39.07	―
24年3月期第2四半期	2.95	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	530,546	310,171	55.7
24年3月期	555,159	322,597	55.5

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　295,351百万円　24年3月期　308,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	10.00	15.00
25年3月期	―	7.00			
25年3月期(予想)			―	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	351,700	1.5	15,400	26.6	16,500	15.3	1,000	△91.4	6.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) ： 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 有

④ 修正再表示 ： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	190,434,968 株	24年3月期	190,434,968 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	38,226,117 株	24年3月期	38,225,599 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	152,209,200 株	24年3月期2Q	160,259,944 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（６）セグメント情報等 …… 11
（７）重要な後発事象 …… 11
４．補足情報 …… 12
㈱ＴＢＳテレビ第２四半期事業収入の内訳 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

日本銀行の「金融経済月報」によりますと、わが国の景気は、国内需要については、復興関連需要などから、個人消費については、雇用環境が改善傾向にあり、いずれも底堅く推移しております。しかしながら、企業の業況感は、依然として続く円高や海外経済減速の影響などを背景に、幾分慎重化しています。

当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は1,724億１千万円（前年同期比4.0％増）、営業利益48億９千７百万円（同105.7％増）、経常利益58億５千万円（同58.6％増）、最終損益は、投資有価証券評価損の影響が大きく、59億４千７百万円の四半期純損失（前年同期は４億７千２百万円の四半期純利益）となりました。

＜放送事業セグメント＞

テレビの放送事業収入のうち、株式会社ＴＢＳテレビの当第２四半期連結累計期間のタイム収入は451億２千２百万円、前年同期比4.3％増となりました。レギュラー番組が前年並みで推移したことに加え、「2012ロンドンオリンピックバレーボール世界最終予選」、サッカー「ＵＥＦＡ ＥＵＲＯ2012」、「ロンドンオリンピック2012」といったスポーツ大型単発番組がタイムセールスを押し上げました。スポット収入は402億９千２百万円、前年同期比7.1％増でした。スポット収入は東日本大震災の反動により第１四半期は大きく伸びた一方で、７月以降やや伸び悩みました。ＴＢＳテレビの在京５局間のスポット売上シェアは前年と変わらず19.6％でした。

ＴＢＳテレビの上期26週平均の視聴率は、全日帯6.5％（前年同期比0.3ポイント減）、ゴールデン帯9.2％（同0.9ポイント減）、プライム帯9.3％（同0.9ポイント減）となっております。個別の番組では「ぴったんこカン・カン」や「中居正広の金曜日のスマたちへ」などが、ＴＢＳテレビを代表するバラエティ番組としての存在感を示し、ドラマでは中居正広主演の日曜劇場「ATARU」が高視聴率を獲得しました。また、単発番組では、「明石家さんまのずっとあなたが好きだった！！」「キングオブコント2012」「オールスター感謝祭’12　超豪華！クイズ決定版」などが多くの方に視聴されております。

前年７月に連結子会社となった株式会社ＢＳ-ＴＢＳは、売上高66億４千６百万円（前年同期比23.1％増）、営業利益は11億１千１百万円（同78.9％増）で、増収増益を達成しました。タイム収入、スポット収入、ショッピング収入いずれも好調で、連結業績の底上げに貢献しました。今後も番組・コンテンツの相互活用など、グループでのシナジー効果を高めてまいります。

ラジオ部門では、株式会社ＴＢＳラジオ＆コミュニケーションズは、８月の首都圏ラジオ個人聴取率調査においてもトップを記録し、2001年８月調査以来の67期連続首位の座を守り続けております。営業面では、タイム収入28億４千５百万円（前年同期比8.7％減）、スポット収入11億４千３百万円（同4.2％減）でした。ラジオをとりまく状況は依然厳しさが続いておりますが、これまで以上にコストコントロールに気を配り、収益の確保を目指していきます。

放送事業セグメントの第２四半期連結累計期間の売上高は1,044億６千１百万円（前年同期比7.9％増）、営業損失は12億２百万円（前年同期は21億３千５百万円の営業損失）でした。

＜映像・文化事業セグメント＞

映画事業は、４月公開の映画「劇場版SPEC～天～」が公開77日間で184万人を超える動員と、興収約23億円を達成する、大ヒットとなりました。これは、2010年秋に放送したドラマシリーズを映画化したものですが、映画公開直前に地上波放送で特別番組を編成したり、BD/DVDやゲームなど関連商品も発売し、映画興行を盛り上げ、多面的な展開で成果をあげました。展覧会では、「インカ帝国展―マチュピチュ『発見』100年―」が46万人を、「ベルリン国立美術館展」は40万人を超える人を集めました。イベント関係では、ブロードウェイミュージカル「CHICAGO」が、主演・米倉涼子のニューヨークブロードウェイ主演デビューに続いて行われた凱旋公演となり、多くの人に感動を与えました。

メディアビジネス関連は、「ＴＢＳチャンネル」「ＴＢＳニュースバード」などペイテレビ事業が引き続き堅調に推移、オンデマンド事業では、バラエティ番組「キングオブコント2012」を地上波放送前に、事前プロモーションとして赤坂BLITZで行われた準決勝の模様を有料配信しました。地上波バラエティ番組と連動して、オリジナル番組を「ＴＢＳオンデマンド」で配信した初めての試みでした。アニメ事業では、「映画けいおん！」のBD/DVDを７月に発売、セル22万６千、レンタル４万５千、と驚異的なセールスを記録しました。

このほか、スタイリングライフ グループは、中核である小売事業の「プラザスタイル カンパニー」は、雑貨小売市場の競争激化の影響により前年同期比で減収となりましたが、原価率の改善や経費のコントロールにより増益を確保しました。また、通信販売の「ライトアップショッピングクラブ」は、シニア層をターゲットとした衣料品や雑貨が堅調に推移しました。

映像・文化事業セグメントの第２四半期連結累計期間の売上高は601億６千７百万円（前年同期比1.8％減）、営業利益は24億５千９百万円（同109.1％増）となりました。

＜不動産事業セグメント＞

開業５年目を迎えた赤坂サカスですが、今年夏には、「夏サカス2012～笑顔の扉～」と題したイベントを行い、７月21日から９月２日の44日間で、106万人の方にご来場いただきました。今後もＴＢＳグループや番組をより身近に感じていただくための体験イベントの開催などに加えて、赤坂の街と連動した地域密着イベントにも力を注ぎ、放送文化の発信地としての地位を不動のものとすることを目指してまいります。

不動産セグメントの第２四半期連結累計期間の売上高は77億８千１百万円（前年同期比1.6％増）、営業利益36億４千３百万円（同9.0％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は5,305億４千６百万円で、前連結会計年度末に比べ246億１千３百万円の減少となりました。有形固定資産、無形固定資産が減価償却等により38億４千万円減少したことに加え、保有する株式の含み益の減少等により投資有価証券が189億３千３百万円減少したこと等によります。

負債合計は2,203億７千４百万円で、前連結会計年度末に比べ121億８千７百万円の減少となりました。未払金が27億７千４百万円減少したこと、保有する株式の時価の下落に伴い繰延税金負債が44億７千６百万円減少したこと等によります。

純資産合計は3,101億７千１百万円で、前連結会計年度末に比べ124億２千６百万円の減少となりました。四半期純損失の計上や配当金の支払により利益剰余金が74億７千３百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が57億２千７百万円減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は55.7％、１株当たりの純資産は1,940円44銭となっております。

（連結キャッシュ・フロー計算書に関する定性的情報）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は757億８千８百万円で、前連結会計年度末に比べて30億１千３百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、144億６千９百万円の収入になりました（前年同期は95億９千万円の収入）。税金等調整前四半期純損益は35億２千万円の純損失となりましたが、投資有価証券評価損87億７千万円、減価償却費67億７千２百万円、売上債権の減少額51億６千７百万円等の増加項目が、たな卸資産の増加額20億２千６百万円等の減少項目を上回ったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、143億円の支出になりました（前年同期は131億８千７百万円の支出）。有価証券の取得による支出(純額)79億９千５百万円、有形固定資産の取得による支出52億１千２百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、31億６千８百万円の支出になりました（前年同期は58億９千９百万円の支出）。長期借入金の返済による支出117億５千万円、配当金の支払額15億２千４百万円、長期借入れによる収入108億円等によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間の売上高につきましては、前回予想（８月２日）をやや下回りましたが、グループあげての継続的なコストコントロールにより、営業利益、経常利益は前回予想を上回る結果となりました。また、四半期純損益につきましては、投資有価証券評価損の金額が増加したことなどから、前回予想を下回りました。

こうした中間期までの状況や、下期につきましても景気の先行きが不透明な状況にあること等を踏まえ、通期の連結業績について下記のとおり修正いたします。

なお、配当予想につきましては、平成24年５月11日に公表した予想に変更はございません。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
平成24年8月2日発表(A)	357,200	14,700	15,900	1,000	6　57
平成24年11月1日発表(B)	351,700	15,400	16,500	1,000	6　57
増減額(B-A)	△5,500	700	600	－	－
増減率	△1.5%	4.8%	3.8%	－	－
前期実績	346,538	12,162	14,313	11,671	74　71

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ63百万円増加し、税金等調整前四半期純損失は同額減少しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,001	26,980
受取手形及び売掛金	36,767	31,600
有価証券	－	57,999
商品及び製品	6,726	7,109
番組及び仕掛品	6,142	7,780
原材料及び貯蔵品	627	633
前払費用	8,410	5,818
繰延税金資産	2,696	2,138
その他	6,112	4,666
貸倒引当金	△116	△115
流動資産合計	146,368	144,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	190,731	191,561
減価償却累計額	△79,621	△82,742
建物及び構築物（純額）	111,109	108,818
機械装置及び運搬具	83,281	84,154
減価償却累計額	△74,906	△75,202
機械装置及び運搬具（純額）	8,375	8,951
工具、器具及び備品	22,588	23,350
減価償却累計額	△20,262	△21,051
工具、器具及び備品（純額）	2,326	2,298
土地	84,553	84,553
リース資産	6,725	6,676
減価償却累計額	△3,513	△3,626
リース資産（純額）	3,211	3,049
建設仮勘定	4,467	4,191
有形固定資産合計	214,044	211,863
無形固定資産		
ソフトウエア	5,024	4,657
のれん	23,966	23,163
リース資産	458	434
その他	2,048	1,581
無形固定資産合計	31,497	29,837
投資その他の資産		
投資有価証券	149,363	130,430
長期貸付金	414	321
繰延税金資産	1,472	1,445
長期前払費用	1,046	1,002
その他	11,767	11,722
貸倒引当金	△815	△689
投資その他の資産合計	163,248	144,232
固定資産合計	408,790	385,933
資産合計	555,159	530,546

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,688	32,633
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	11,750	1,200
未払金	11,782	9,007
未払法人税等	3,123	2,005
未払消費税等	827	590
未払費用	5,070	5,616
役員賞与引当金	184	87
その他の引当金	1,058	874
その他	6,672	6,132
流動負債合計	95,156	78,148
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	47,000	56,600
退職給付引当金	12,978	13,177
リース債務	2,235	1,863
繰延税金負債	10,121	5,644
その他	15,069	14,939
固定負債合計	137,405	142,226
負債合計	232,561	220,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	60,254	60,254
利益剰余金	222,303	214,829
自己株式	△48,972	△48,973
株主資本合計	288,572	281,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,329	14,602
繰延ヘッジ損益	△357	△135
為替換算調整勘定	△186	△213
その他の包括利益累計額合計	19,785	14,253
少数株主持分	14,238	14,819
純資産合計	322,597	310,171
負債純資産合計	555,159	530,546

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	165,759	172,410
売上原価	120,024	123,351
売上総利益	45,735	49,058
販売費及び一般管理費	43,354	44,161
営業利益	2,380	4,897
営業外収益		
受取利息	34	36
受取配当金	1,981	1,636
持分法による投資利益	69	13
その他	468	442
営業外収益合計	2,554	2,129
営業外費用		
支払利息	733	664
固定資産除却損	159	46
その他	353	465
営業外費用合計	1,246	1,176
経常利益	3,688	5,850
特別利益		
投資有価証券売却益	3	1
段階取得に係る差益	210	－
特別利益合計	214	1
特別損失		
投資有価証券評価損	1,346	8,770
減損損失	102	534
退職給付制度改定損	－	67
早期割増退職金	333	－
特別損失合計	1,782	9,372
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	2,120	△3,520
法人税、住民税及び事業税	1,109	1,223
法人税等調整額	876	551
法人税等合計	1,986	1,775
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	133	△5,295
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△339	651
四半期純利益又は四半期純損失（△）	472	△5,947

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	133	△5,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,689	△5,727
繰延ヘッジ損益	23	206
為替換算調整勘定	△36	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△1,702	△5,549
四半期包括利益	△1,569	△10,844
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,230	△11,480
少数株主に係る四半期包括利益	△338	635

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	2,120	△3,520
減価償却費	7,303	6,772
長期前払費用償却額	321	122
減損損失	102	534
のれん償却額	1,157	802
投資有価証券評価損益（△は益）	1,346	8,770
退職給付費用	277	199
固定資産除却損	159	46
貸倒引当金の増減額（△は減少）	10	△127
受取利息及び受取配当金	△2,016	△1,673
支払利息	733	664
持分法による投資損益（△は益）	△69	△13
投資有価証券売却損益（△は益）	△3	△1
売上債権の増減額（△は増加）	2,788	5,167
たな卸資産の増減額（△は増加）	△993	△2,026
前払費用の増減額（△は増加）	1,545	2,624
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,250	△2,055
その他	△2,660	△948
小計	9,873	15,338
利息及び配当金の受取額	2,022	1,670
利息の支払額	△800	△637
法人税等の還付額	453	472
法人税等の支払額	△1,958	△2,375
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,590	14,469
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額（△は増加）	△7,994	△7,995
有形固定資産の取得による支出	△3,718	△5,212
無形固定資産の取得による支出	△774	△513
投資有価証券の取得による支出	△244	△49
投資有価証券の売却による収入	12	1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,389	－
その他	920	△532
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,187	△14,300

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	283	－
短期借入金の返済による支出	△4,042	－
長期借入れによる収入	－	10,800
長期借入金の返済による支出	△875	△11,750
社債の発行による収入	19,899	－
社債の償還による支出	△20,000	－
配当金の支払額	△572	△1,524
少数株主への配当金の支払額	△44	△53
その他	△548	△640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,899	△3,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△14
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△9,510	△3,013
現金及び現金同等物の期首残高	71,434	78,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,924	75,788

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	96,825	61,276	7,657	165,759	―	165,759
セグメント間の内部売上高又は振替高	744	2,272	3,354	6,370	△6,370	―
計	97,569	63,548	11,012	172,130	△6,370	165,759
セグメント利益又は損失（△）	△2,135	1,176	3,343	2,384	△3	2,380

（注）１．セグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	104,461	60,167	7,781	172,410	―	172,410
セグメント間の内部売上高又は振替高	783	2,216	3,327	6,327	△6,327	―
計	105,245	62,384	11,108	178,738	△6,327	172,410
セグメント利益又は損失（△）	△1,202	2,459	3,643	4,901	△3	4,897

（注）１．セグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。

４．補足情報

㈱ＴＢＳテレビ第２四半期事業収入の内訳

（単位：百万円）

科　　目	前第２四半期 (23.4.1～23.9.30)	当第２四半期 (24.4.1～24.9.30)	増　減		前事業年度 (23.4.1～24.3.31)
	金　額	金　額	金　額	増減率	金　額
テレビ	86,557	91,500	4,942	5.7%	180,109
タイム・番組制作	43,253	45,122	1,868	4.3%	85,415
スポット	37,617	40,292	2,675	7.1%	83,504
その他	5,686	6,084	398	7.0%	11,190
事業	12,320	13,099	779	6.3%	25,586
不動産	1,448	1,447	△0	△0.0%	2,885
合計	100,325	106,047	5,721	5.7%	208,581